

平成23年度東区民文化センター舞台芸術促進事業参加企画

アトリップル

第七劇場

ワールドツアー2010-2011 日本公演“かもめ”

広島公演、ワークショップ 報告書

2011年3月31日

|              |   |  |                             |                |
|--------------|---|--|-----------------------------|----------------|
| 団体名          | C.T.T.広島事務局<br>舞台芸術制作室無色透明(提携)                  |  | 代表者名                        | 岩崎 きえ 印        |
| 事務局所在地       | 〒730-0013<br>広島市中区八丁堀3-1幟会館2F<br>舞台芸術制作室 無色透明 内 |  | 連絡先所在地                      | 同 左            |
| 担当者氏名        | 岩崎 きえ   | 電話   | 090-7892-8925               |                |
|              |   | Eメール   | a.p.musyokutoumei@gmail.com |                |
| <b>事業の概要</b> |   |  |                             |                |
| ワークショップ事業    | 第七劇場ワークショップ<br>「からだをきれいにワークショップ」(主催)            |  |                             | 参加者/2日間延べ人数57名 |
| 実施時期         | 2011年9月22日(木)、23日(祝)                            |  | 実施場所                        | 東区民文化センターギャラリー |
| 事業内容         | 講師、スタッフなど                                       | 講師/鳴海康平(第七劇場 演出家)、佐直由佳子(第七劇場 女優)<br>スタッフ/岩崎きえ、藤井友紀(C.T.T.広島事務局)  |                             |                |
|              | 主な内容  | 「からだをきれいにワークショップ」<br>からだのコア(中心)と向き合ってみよう<br>呼吸や筋肉を感性に生かした「身体言語」を体験してみよう  |                             |                |
| 実施結果         | 事業実施上、特に工夫した点                                   | 休日を利用して気軽に来ていただけるように、と連続参加しなくても十分楽しめる内容構成を、講師に依頼した。<br>演劇の特徴である「身体言語」に重点を置いたワークショップだが、あえてそれを前面に打ち出さないことで、自然と参加者にそれを体験してもらうことができるよう工夫した。<br>また、参加者がその場で経験したことをより有効に生かせるように、詳細にレポートを作成し、希望者に送呈した。  |                             |                |
|              | 反響等(鑑賞者の反応)                                     | 去年の反省を生かし、今回はアンケートを実施した。<br>ほぼ全員から「参加してよかった。また参加したい」「鳴海さんに会えてよかった」という回答を頂くことができた。<br>講座レポートも大変喜んでいただくことができ、参加者のうちの何人かは、その後第七劇場の公演にも足を運んで出さる結果に繋がった。  |                             |                |
|              | 実施後の感想及び反省点等                                    | リピーター参加者がいたことは非常に喜ばしい事だった。<br>また、「地元の区民文化センターのチラシコーナーでチラシを見つけて興味があったので来ました」という方も何人かいらっしや、安佐南区や佐伯区からの参加者も多く、東区民文化センターとの共催が実を結んでいることが実感できる、嬉しい結果となった。<br>また、去年同様、演劇の経験がある人もない人も、同等に楽しんでいただける非常に有意義な講座となった。<br>参加者の多くが、すがすがしい笑顔で「ありがとうございました!」と帰っていかれ、企画者として本当に嬉しい事だった。 |                             |                |
|              | 今後の事業展開・展望                                      | また参加したいという方々の希望もあったことから、来年度も引き続き事業として行う。<br>こういう形で、「演劇」の要素が一般の方々の生活の中に触れる機会を、もっとつくっていければ、演劇を身近に感じたり、興味を抱いてくれる人が増えるのではないかと考える。  |                             |                |

|      |               |   |                   |
|------|---------------|---|-------------------|
| 公演事業 |               | 第七劇場ワールドツアー2010-2011 日本公演<br>“かもめ”広島公演【共催】  |                   |
| 実施時期 |               | 2011年11月5日（土）、6日（日）   | 実施場所 東区民文化センターホール |
| 事業内容 | 主な出演者、スタッフなど  | 演目：かもめ<br>原作：A・チャーホフ<br>（“かもめ”“六号室”“わびしい話”“ともしび”より引用構成）<br>構成・演出・美術：鳴海康平<br>出演：佐直由佳子、木母千尋、山田裕子、小菅紘史、菊原真結、須田真魚、伊吹卓光<br>照明：島田雄峰（Lighting Staff Ten-Holes）<br>音響：和田匡史<br>衣装：川口知美（COSTUME80+）<br>現場制作：C.T.T.広島事務局<br>トークゲスト：柿木 伸之（広島市立大学准教授）、松本 憲治（音楽家、作曲、指揮者）  |                   |
|      | 主な内容          | チャーホフ四大戯曲の『かもめ』の中で、ニーナとコースチャのふたりのエピソードに絞り、大胆に構成された作品。<br>原作第4幕ではニーナは疲れ果て精神が不安定な状態で現れ、コースチャの目に見えない自殺で幕を閉じるが、本作品ではそのコースチャの自殺後の後日譚として舞台は進行する。<br>コースチャの自殺以降、精神状態を崩したニーナは精神病院に入院している。そこへ原作中でコースチャの自殺を発見した医者ドールンが見舞いにやってくる。その病室にはニーナのほかに患者があり、ドールンがその患者たちに、ニーナとコースチャの物語として、『かもめ』を語りはじめ、ニーナはそれに呼応するように、幻影のようなコースチャやその他の登場人物とともに過去を追体験していく。<br>コースチャを捨てて芸術を夢見てモスクワへ発ち、その後の人生の転落と、生きることの難しさを知った末に、コースチャの自殺に直面したニーナ、その過去とともにどう生きるのか。<br>ドールンと患者たちの会話は、チャーホフの中編小説『ともしび』『六号室』『わびしい話』から引用されたテキストで構成される。<br>チャーホフが描いた、ロシアの中産階級や非生産的なインテリ、芸術の空しさ、現実生きることの苦しさ、白い床で区切られた病室と、断片的なイメージの照明、そしてニーナの苦しみや、それと無関係な暴力的な社会のイメージと重なる遠くで降り積もる雪によって、重く、美しく描かれる。 |                   |
| 実施結果 | 事業実施上、特に工夫した点 | ホールの舞台側に客席を設置。<br>冷たく薄暗く静かな「かもめ」の世界観を、明かりを落としたホール客席の「奥行」で表現。空間の特性を最大限に生かした構成となった。   |                   |
|      | 反響等（鑑賞者の反応）   | ステージ数が1回増えたこともあるが、去年の2倍に観客数を伸ばすことができた。今年観た舞台のなかで一番良かった、とアンケートにメッセージをいただいたり、初めて舞台を見た、という方も多くいらっしゃった。   |                   |
|      | 実施後の感想及び反省点等  | 継続した企画、ということで「去年良かったのでまた来ました」という方に喜んでいただけたとは、企画側として非常に喜ばしい事だった。<br>反省点として、公演会場の規模が大きくなったのに運営側のスタッフの補充が十分でなく、細かい作業ミスが目立った。また、貴重品の管理など基本的な心得を軽視していたことで、関係者、協力者各位に迷惑をかけ、現場責任者としての反省点だった。   |                   |
|      | 今後の事業展開・展望    | 来年度も第七劇場の広島公演が決定した。<br>演劇や、第七劇場を全く知らないお客様にも、豊かな時間を過ごして頂ける機会となるよう、ささやかな活動ではあるが、継続することを心がけ、引き続き努力をしていきたいと思う。  |                   |

| かもめ広島公演有料動員数（計3回） |       |     |    |       |     |
|-------------------|-------|-----|----|-------|-----|
|                   |       | 前売り | 当日 | 招待、無料 | 計   |
| 2008年11月4日        | 一般    | 34  | 4  | 内4    | 38  |
|                   | 学生    | 16  | 0  | 内1    | 16  |
| 2008年11月5日        | 一般    | 28  | 3  | 内3    | 31  |
|                   | マチネ学生 | 10  | 2  | 内2    | 12  |
| 2008年11月5日        | 一般    | 25  | 9  | 内3    | 34  |
|                   | ソワレ学生 | 23  | 0  | 内1    | 23  |
| 合計                |       |     |    |       | 154 |